

第4回幼稚園再編に係る地域協議会(壱分幼稚園) 会議録

日 時:令和3年7月19日(月)15時から

場 所:壱分幼稚園リズム室

参加者:森本座長、井ノ上委員、坂本委員、中瀬委員、大平委員、前委員、宇高委員、新町委員、清水委員、新土委員、坂谷委員

事務局:原井教育長、奥田部長、松田課長、松本指導主事、福山課長補佐、生水(会議録作成者)

傍聴者:2名

<開会>

座長挨拶

次第1 こども園化のシミュレーション

委員説明(別紙資料1)

座長 0～5歳の子どもを受け入れるということは、多くの保育室も必要となる。来年からすぐにこども園化するのは難しいということが今のシミュレーションで理解できた。何か質問などはあるか。

次第2 「幼稚園再編・こども園化についての意見書」について

座長 委員より意見書案についての意見をいただいたので、説明いただきたい。

委員 事務局から提示された意見書案は、自分のイメージとは違う部分があったので構成に関して意見を出した。このようにまとめてはどうかという提案である。意見書について何か様式や表記などに決まりがあるのか事前に確認したが、特に制限はないとのことだったので、5つの分類にまとめることを提案する。

まず初めに、協議会発足についての背景と経緯を内容の中心にする。2番目には、壱分の地域協議会概要ということで、目的や構成メンバー、役割、開催状況といった内容を記載。3番目は、実際に協議された内容についてである。この協議会ではなばた幼稚園と統合して一日でも早くこども園化をしたい、統合に時間がかかるのであれば、壱分幼稚園単独でこども園化したいというのが、この協議会メンバーと住民の主な意見ではないかと考える。よって、この総意を協議内容の最初に記載した。その次だが、協議事項と課題については今まで様々な議論があった。今回市から提示されたキーワードは統合とこども園化だと思ったので、それに即したまとめ方をするべ

きではないかと考えた。こども園化に対する課題、統合に対する課題、移行時期の課題、最後にどれにも当てはまらないその他というように分類した。次の4番で、まとめを記載する。ここまでは項目別にまとめているが、協議会としての結論を集約して書いてはどうだろうか。最初の前文と4番のまとめを読めば、この協議会で行ってきた内容の概念だけでも理解することができるというものである。5番目は今後の取組への提言とする。教育委員会で結論を決定する上で、地域協議会ではあまり議論していないが、検討してはどうかということについてである。例えば、この協議会では具体的なコストについて議論していないので、コストも意識した総合的な判断といったようなこと。前回の協議会で、私はコストについて明確にすべきと意見しているが、議論はしていないので決定するには検討してほしい。

以上、こういう構成や記載をしてはどうかということで提案させていただいた。この提案に基づいて作成したのが本日の資料2となっている。

座長 意見書について、大変わかりやすく工夫していただいたと思う。資料2のように協議内容をまとめていただいているが、何か意見はあるか。

委員 順序と文言について提案がある。1ページ下から4行目「再編案を示しました」の後に「それを受けて地域や保護者の皆さんに意見を求めるために地域協議会を組織しました」と入れたほうが文章の流れが良いのではないだろうか。次に、2ページの(1)目的についてだが、「方向性をとりまとめることを目的にします」としてはどうか。最後に3ページの(3)役割について、「意見書を提出する」と断言してはどうか。大事なものは意見をわかりやすく伝えること。総意の中に3つあるが、「希望します」では弱いので、もっと強く主張してはどうか。例えば、「こども園化を図ること」「こども園化を進めること」「こども園化の条件を整えること」といったように、3つの柱を明確に出してはどうか。なぜかというと、まとめの記載と被っている部分があるので、総意で強く訴えたほうが良いと思った。あと、④の書き方には納得できない。これは消して、公立幼稚園の役割、特色というものをしっかりと書けばいいのではないか。基本的にこのまとめ方には大賛成だが、子ども像がみえない。子どもの競争心や自尊心が育つので良いと思う、という意見もあったはず。合併についての意見はこれでいいが、子どもの姿が見えないのが寂しいと思った。生駒市がどういう子どもを育てていくのかというビジョンを示していかななくてはいけないと思った。

座長 いただいた意見について確認したい。1ページ下から4行目に協議会の経緯について書く。次は2ページ(1)の文末を「目的とする」とする。次は3ページ(3)役割の部分の文末を「提出する」とする。それから4つ目が4ページの(1)総意について、項目分けして文末を「図ること、進めること、整えること」としたほうが強い表現

になるとのことだが、どうか。

委員 個人的に、文章は「である」か「ですます」かに統一したほうが良いと思う。「てにをは」は皆さんで直すと良いと思う。協議会の目的についてだが、最初に我々が議論して決めたわけではない。これは我々の意思ではなく、目的である。この目的は教育委員会から与えられたものである。総意について、こだわりはないので皆さんの良いと思うようにしたい。

事務局 統一していただくのが望ましい。地域協議会の目的について、第2回地域協議会でお伝えしているが、市のほうでお願いしている部分がある。

座長 「ですます」で統一してよろしいか。

委員 壱分の地域協議会から出す意見書になるので、壱分の立場で書いたほうが良いのではないかと考えた。確認の意味もこめて意見させていただいた。

座長 次に総意の表現についてだが、何か意見はあるか。

委員 協議内容の(2)以下は羅列になっているから、(1)もそのように統一してはどうか。また、文章については「ですます」だが、羅列している部分については「こと」で終わっている。

委員 どちらの書き方でも理解はできるが、統一して羅列にしたほうが整うのではないか。

事務局 では、「図ること」「進めること」「整えること」で揃えさせていただく。

委員 結論については、枠線などで強調してもらったらわかりやすいのではないかと思う。

座長 強調することで体裁が整わなくなるのではないだろうか。箇条書きについてはお願いしたい。次に5ページの④について、一部削除してはどうかという意見があるがどうか。

委員 どちらの表現にしても内容は伝わるだろう。

委員 ここに書かれているのは我々の提案ということになるが、これは絶対条件なのか。それとも、あくまで我々の意見なのか。つまり、実行されるけどできないこともあるのか。もしくは、検討したけど出来ないという要素も含んでいるのか。条件が記載されているが、結果がどうであったかの返事は返ってくるのか、それとも全て実行されると考えてよろしいのか。

座長 以前の会議で全て実行するのは難しいという話だったと思う。

委員 これは意見書なので、出た意見を集めたものである。この協議会の意見は偶然にも原案とほぼ同じだったのでまとめやすかった。ここでまとめた意見を出して、それを教育委員会に伝えるのが協議会の役割。条件の実現まで求めるのであれば、それも記載するべきだが、あくまで意見書なので自分はそうではないと考える。協議会のスタートは教育委員会が決定をする際の判断材料をくださいということだったはずであり、ここで決定を下すものではなかったはず、自分はそのようにこの会を位置づけている。

事務局 意見書の内容について、市教育委員会は真摯に向き合わなければならぬと考えている。これだけ様々な意見をいただいている中で、主だったものを記載しているが、課題解決のため地域や保護者に力を借りていかななくてはいけない部分もあると思う。ただ、必ず意見は実現しないといけないというわけではなくて、意見書を受けとめて、再編の検討をしていかなないといけない。

座長 「私立幼稚園の良いところを」というのは住民からも意見があったと思うがどうすべきか。

委員 意見として出されていたと思うが、他の学校と比べてという書き方は良くない。私立の良い部分とは何を指すのだろうか。私立という限定をせずに、公立の良さを活かすということを書いてはどうか。

委員 住民の意見として出ているので、出さないわけにはいかないと考える。

座長 まとめの部分に関して説明していただきたい。

委員 まとめと総意は重複して良いと思っている。むしろ、それが狙いである。初めとまとめを読めば、内容がなんとなく分かるというようにしている。ただ、指摘のとおり言葉が不足していると思うので、6ページのまとめに経緯や流れを少し加えよう

と思う。初めは協議会がスタートする前のこと、まとめはそれらがスタートしてから結果としてどうなったかというのが簡潔にわかるようなものであり、協議会としての検討内容はどうだったのかというものである。

座長 「はじめに」という文言は本日の案には記載がないが。

委員 文言は無いが、冒頭のあいさつ文と「1 協議会発足に至る背景・経緯」がそれに該当する。

委員 「1 協議会発足に至る背景・経緯」のところを「はじめに」にしてはどうか

座長 1ページの1に「はじめに」を入れれば、どうかというご意見。

委員 そのように修正する。まとめの内容も増やして再度作成し、事務局に送付する。5ページ③の「在籍している園で卒園できるように」という部分についてだが、下の年代が入学してこない年代が発生してしまう。この意見は壱分の地域から出た意見だと認識しているが、これは良いことなのだろうか、親が望むことなのだろうか。意見書に書くのはかまわないが、想像がつかないので教えてほしい。

事務局 なばたの地域協議会でも、下の学年が入ってこないのは寂しいとの意見は出ている。仮に再編が決定となると、次は細かい運営についての協議になるが、そこで途中編入を拒むのか受け入れるのかといった様々な意見を検討する。

委員 壱分幼稚園はこども園化しても壱分幼稚園のままだと思うが、どういうことなのか。「在園児は在籍している園で卒業すること」とあるが、壱分協議会で意見書として書く必要があるのか。

事務局 意見聴取票に質問項目としてあったので、恐らくなばた幼稚園のことを配慮してこのような意見が出たと考える。移行時期の課題ということで広く捉えて回答していただいたものではないだろうか。

委員 南こども園設立の時に、南幼稚園での卒業証書がほしいとの意見があった。壱分幼稚園で入学された方も同様に壱分幼稚園の卒業証書がほしいと考えておられる方がいるかもしれない。また、在園中にこども園に変わるかもしれない場合は事前に保護者に十分な説明をしなくてはならない。途中でこども園になるならば、他の幼稚園に通わせたいという保護者もいるかもしれないので。

委員 こども園化した壱分幼稚園で卒園しても、卒業証書はなばた幼稚園の園名で出すということか。

委員 今在園の子どもは入園の時に途中でこども園になるといった説明を受けていないので、現在通園中の幼稚園のままで卒園できると理解している。この部分は早急なこども園化という意見とは反する部分にはなるが、保護者の意見として出てきたものでもある。

座長 1行目だけ削除することも考えられるがどうか。

委員 各自治会から出た様々な意見や課題なので載せていいと思う。いずれ何らかの答えが教育委員会から出されて、そこには除く課題と残す課題があると思うが、真剣に追求していかなくてはいけない。次第1のスライドで、人口減少と今後の人口編成について理解できたが、すぐに結論を出す必要があると感じた。先延ばしにしていると入園児がいなくなってしまう。横並びにしなくてもいいのであれば、事務局と協議会メンバーと地域住民の意見に大きな相違はないので、早く結論を出して課題を検討し、こども園化を進めれば良いと思う。

委員 意見を聴取されたが、結果がどのようなになったのかという質問を受ける。今までの経過報告を含めて回覧し、意見書や決定方法などについて報告が必要ではないだろうか。私は骨子だけでも回覧で皆さんにお知らせするのが良いと思う。事務局としてはどうお考えか。

事務局 事務局としてもそれは気にしている部分。他の地域協議会でもあったが、事務局がハッキリと事実を示さないので、混乱が生じているところがある。本来であれば結果が出てから示すものだと思うが、このような意見書を協議会として出したということは、教育委員会が結論を出す段階では示さなくてはいけないと思っている。ただ、回覧となると自治会長にも負担なので、ホームページや広報でお知らせする必要があるのかなと考える。ただ、気になるのは、これが決定事項ではないということ。決定事項でないことが流れて地域を不安にさせるかもしれない。なので、他の地域の意見も聞きながら考えていかないといけないと思う。

委員 私も同意見である。地域住民に意見聴取したからには、アンケート結果について提示するのが礼儀である。聞くだけ聞いてフィードバックがないという前例になってしまう。意見書は後日ホームページに記載されるので、それを通知すること、「皆

さんの意見を参考にして検討しています」といった旨の文書をお知らせする必要があります。これまでのように噂が一人歩きしないような内容にすれば良い。途中経過をお知らせするのは大事だと思う。

座長 事務局のほうで検討をお願いします。壱分協議会の総意の確認をさせていただきたい。意見書6ページのまとめの部分は、「市教育委員会が示した再編案をベースに、なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合して一日でも早いこども園化を希望する。時間がかかるのであれば、再編を待たずに壱分幼稚園単独でのこども園化を求める。」といった形でよろしいか。

座長 当初のスケジュールでは協議会は全5回の予定だったが、事務局で次回予定している案件などあるか。

事務局 予定している案件はない。

座長 では、今回を最後の協議会としてよろしいか。意見書については修正意見があったので、事務局で修正していただきたい。後で最終案を送付するので、それを皆さままで確認していただいて、何かあれば連絡してほしい。それでよろしいか。

座長 委員の皆さまには2月3日の第1回会議よりご協力いただいた。お礼申し上げます。

教育長挨拶

<閉会>